社会経済のデータサイエンス

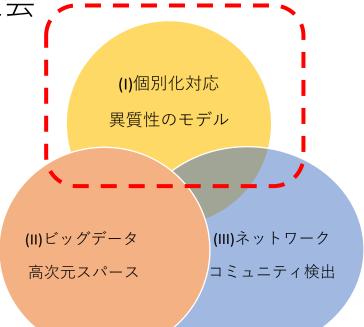
照井伸彦 東北大学大学院経済学研究科

デジタル社会における保険イノベーション 2021年9月14日

目次

1. 背景

- ・ビッグデータと超スマート社会
- ・経済のサービス化
- 2. 求められるデータ科学手法
 - (I) 個別化対応 異質性のモデル
 - (II)ビッグデータ 高次元スパース性
 - (III)ネットワーク テキスト解析も利用したコミュニティ検出
- 3. パーソナライゼーション
- 4. 人材育成



超スマート社会

一第5期科学技術基本計画(Society 5.0)

第1次産業革命

馬車



(イギリス) 蒸気機関



工業化社会

第2次産業革命

(米国) モーター・ベルトコンベヤー



情報社会

第3次産業革命

(日本) エレクトロニクス

第4次産業革命

経験と勘

ビッグ データ

超スマート

超スマート社会

一第5期科学技術基本計画(Society 5.0)

○ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間(現実世界)とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。

○狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような 新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先 導していく

=>第6期科学技術基本計画(2021年~) =>実現のフェイズ

超スマート社会



出典:科学技術イノベーション総合戦略2015における重点化 対象施策について(平成27年9月18日 内閣府政策統括官)

マーケティング: パーソナライゼーション

Society 5.0

定義

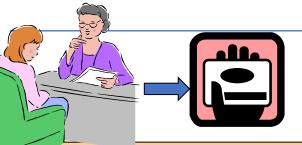
個別のシステムが更に高度化し、分野 や地域を越えて結びつき、

3次元の地理データ、人間の行動データ、交通データ、環境観測データ、もの作りや農作物等の生産・流通データ等の多種多様で大量のデータ(ビッグデータ)を適切に収集・解析し、横断的に活用することにより、

「<u>必要なもの・サービスを、必要な人</u> <u>に、必要な時に、必要なだけ提供し</u>、 <u>社会の様々なニーズにきめ細やかに対</u> <u>応でき</u>、あらゆる人が質の高いサービ スを受けられ、年齢・性別・地域・言 語といった様々な違いを乗り越え、活 き活きと快適に暮らすことができる社 会

会員入会

ID付POSデータとマネジメント



情報提供 顧客属性(デモグラフィックス)

女性, 23歳 居住地域, 家族人数 学歴, 収入, その他



購買記録

アイスクリーム ブランドA 価格 ¥300 プロモーション "on"(実施)

外的環境

天候 "晴れ" 気温 "30℃

顧客

(女性) (20-25歳くらい) その他



- 彼女にどのようなクーポンを送るべきか?=>E-メールによる個別化プロモーション
- ・彼女はどんな関連商品を購入しそうか?
- =><u>リコメンデーションシステム</u> インターネット書店 "Amazon" (個別化広告)



個別広告・プロモーションの成功例



この商品を買った人はこんな商品も買っています

ページ: 1 / 17





¥ 4,410





入門へイズ統計



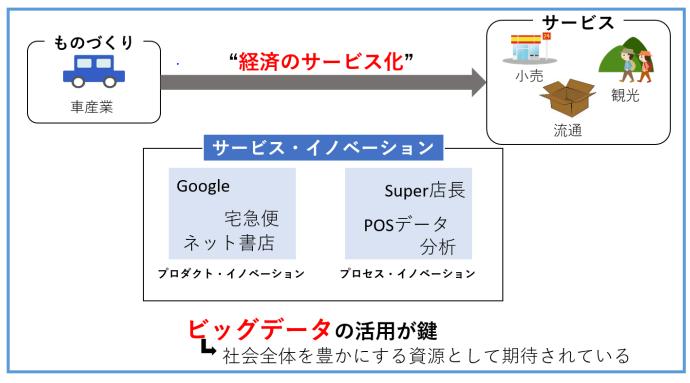


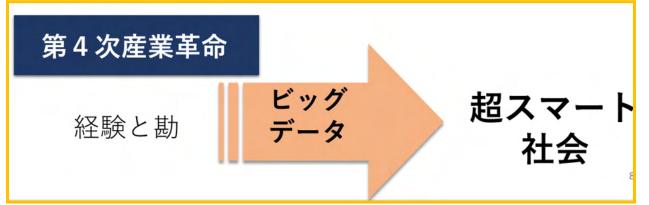
RICよるテキストマイニング入門 石田 基広 ¥ 2,940

データマイニング入門 豊田 秀樹 ★★★★★ (1) ¥ 3,570

★☆☆☆☆ (2) ¥ 3,045 <u>と発</u>

経済のサービス化とビッグデータ





ビッグデータはごみの山

情報量は浅い(Shallow)

- a)人間の個性や行動の振れ幅が大きい
- b) 社会経済システムに大局的・安定的物理定数は想定しがたい

複雑な事象に潜伏する構造のモデリング⇔実在論的アプローチ



有用な情報を取りだす機能(網,フィルタ,プリズム)必要

- (1) 先験的知識(事前分布):経験,理論,合意
- (2) 経験データ (尤度)
 - =>両者を統合して複雑事象の認識(事後分布): 情報更新
 - =>検証,予測,制御

I.個別化対応(異質性のモデリング)

ID付POSデータ:メンバーシップ顧客の購買履歴データ

- ○データ情報
 - データに記録される顧客行動データ (尤度関数)
 - =>個別対応するには情報不足

共通の知見を利用(事前分布)

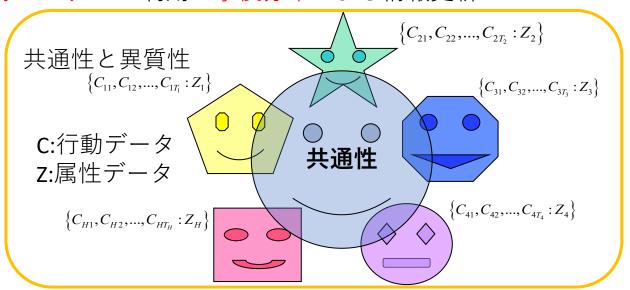
$$Y_h = f(X_h \beta_h) + \varepsilon_h \quad h = 1, ..., H$$

○事前情報

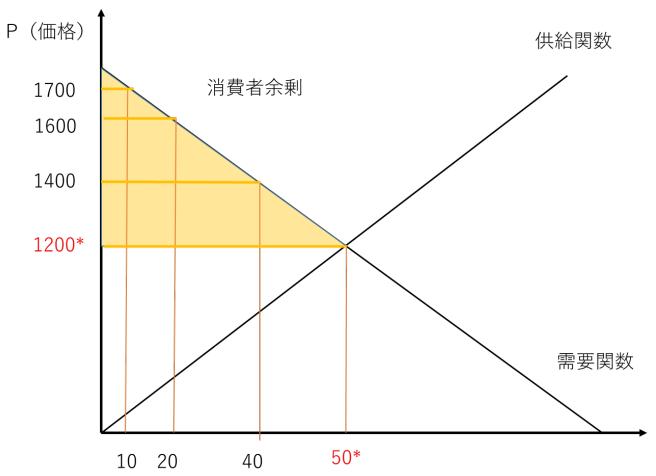
「各消費者は異質ではあるが共通する部分もある」

$$\beta_h = \overline{\beta} + \varepsilon_h$$

- ○データの持つ情報を「異質性」と「共通性」とにバランスよく分配し、異質性 を推定するのに不足する情報を共通性として消費者全体をプールした情報で補う
- => **階層ベイズモデル** の利用:事後分布による情報更新



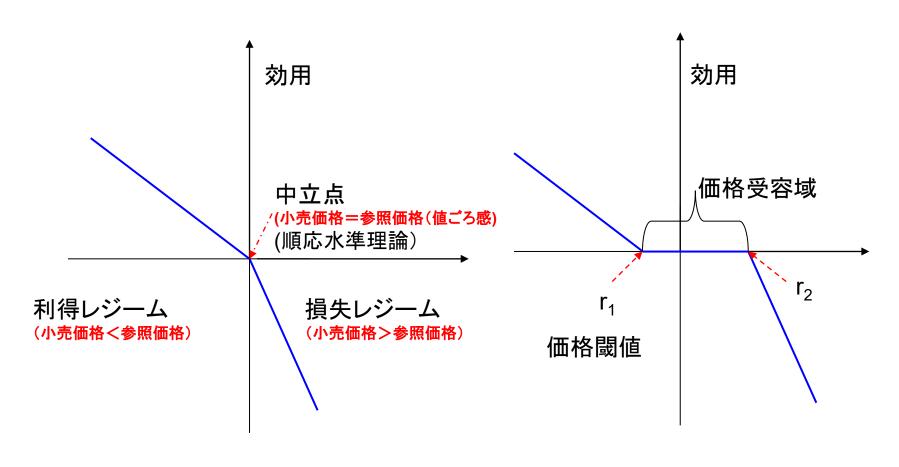
• 個別化価格(消費者余剰)



(1)価格閾値の推定

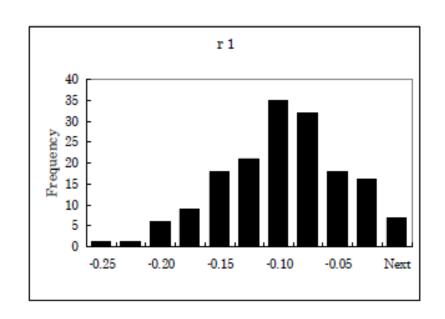
Marketing Science (2006): Terui and Dahana

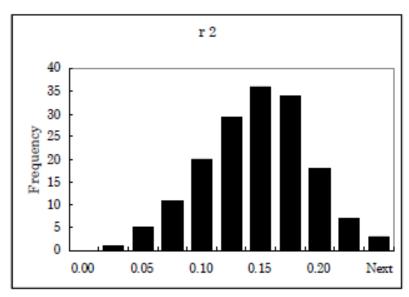
価格閾値の個別推定



プロスペクト理論 (Kahmenan &Tversky)

同化対比理論





- (1) 25%以上ディスカウントしないと反応しない人もいれば 0.5%でも反応する顧客がいる
- (2) 20%以上値上げしても拒否しない人もいれば 0.5%でも拒否する顧客がいる
- ->個別の反応度に応じて受容される価格帯が異なる

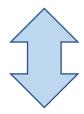
- インターネットによって需要がデータ化
 - =>需要の見える化 <=検索ワード、自然言語処理
 - =>ニッチな市場への対応
 - =>デジタル広告によるターゲティング
- ロングテール(ミドルテール)の需要充足
 ⇔
- ボリュームのある平均的需要<=テレビ広告など莫大なコスト
- あらゆる分野・産業に大きな影響を与える。
 - =>個別ニーズが異なるにもかかわらず、同質の製品・サービスが提供されてきた。
 - =>デジタル広告によるターゲティング 個別価格(消費者余剰)

パーソナライゼーションの意味楽天グループCDO(チーフデータオフィサー) 北川拓也氏

「データとAIによって、需要の見える化と新たな価値創出を通じてウェルビーイング社会を実現」



「ウェルビーイング(持続可能な幸せ)による人間のサステナビリティによる人間回帰 (人間主義)」



SDGs自然のサステナビリティによる自然回帰

• ビジネス以外で期待される分野

【医療】

DNA情報、病歴、投薬歴、などによる個別化医療 東北大学メディカルメガバンク 東北大学病院個別化医療センター

【金融】

もともと個別化が適用されてきた分野

保険:顧客リスクに応じた保険料

近年「フィンテック」としてAI活用が進む

標準化された金融商品・サービスで収益獲得が困難

=>個々のニーズや状況に応じたきめ細かい対応・総合的対応が必要

銀行と企業:貸出中心から総合的金融サービスへ

個人:生保・医療保険、資産運用への総合的なアドバイスと

サービス提供へ

人材育成

本プログラムを通じた

保険とデータサイエンスのクロス人材輩出

に期待

ご清聴ありがとうございました